

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名										新型コロナウイルス感染症対策事業										②事業番号		4528					
③事業類型		7. 負担金・補助金事業								④開始年度		令和		2		年度		⑤終了予定年度		令和		2		年度		設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		○要綱		計画等		その他		法令等の名称		介護保険事業費補助金交付要綱											
⑦実施手法		直営		○全部委託		一部委託		補助・負担		その他																	
⑧関連予算科目コード						款		3		項		1		目		1		細目									
⑨担当部名						⑩担当課名																会計		介護保険特別会計			
福祉保険部						長寿社会推進課																					

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① おおむね65歳以上の市民	① 65歳以上の市民	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市内の多職種が個々でフレイル予防の情報収集・発信及び高齢者の見守りを行っている状況をふまえて、多職種が連携して効率的に支援できる体制を構築するため、社会資源データベースシステムを活用し、行政及び多職種が把握している新型コロナウイルス及び介護予防に関する情報をオンラインシステム上で集約、共有する。また生活支援に関する地域資源を集約し、地図情報として管理し、個人のニーズに合った情報を提供する。 フレイル：年齢を重ねることによる虚弱の状態。	① 地域資源登録数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
専門職が地域活動の状況をオンラインシステム上で共有し、効率的に市民へ必要な情報を提供することで、新型コロナウイルス感染症の影響によるフレイルを予防する。	① 専門職のアカウント数	件
	②	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
新型コロナウイルス感染症の影響で自粛生活を送る高齢者のフレイルを予防する。 (2—3—1—1)：地域資源を可視化することで、新たな資源開発にもつながり、生活支援・介護予防サービスの構築につながる。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします
	施策中	2 高齢福祉の充実
	施策小	3 自立支援・生きがいづくり

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	65歳以上の市民	人	17,569	17,629	17,687	—		指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	地域資源登録数	件			144	—		
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	専門職のアカウント数	件			21	—		
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明 臨時的交付金及び補助金を活用。
成果指標③								
事業費	投入人員							
	正職員	人	0.00	0.00	0.15			
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00			
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	0	0	1,145	0		
	直接事業費	千円			1,892			
	総事業費	千円	0	0	3,037	0		
財源内訳	国庫支出金	千円			1,892			
	府支出金	千円						
	受益者負担金	千円						
	その他特定財源	千円						
	一般財源	千円	0	0	1,145	0		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	緊急事態宣言等による外出自粛の影響で、高齢者の体力及び認知機能の低下が予想される。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地域の多職種がそれぞれで情報を集約していたため、オンライン上で共有することで効率的に住民へ情報提供ができる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	地図上で資源を可視化することで、今後必要な資源開発についての検討も行える。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	今後、生活支援・介護予防サービス体制の基盤整備事業としてシステムを活用し、地域資源の登録数及び専門職のアカウント数の増加を目指し、充実させる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	今後、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を見据え、他部署とも連携して活用できるよう、調整を進める。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	システムを活用することで、効率的に情報共有を行い、事業実施を行っている。
---	----------------	--------------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	地域資源の情報を定期的な更新、高齢者に関わる新たな資源の登録を行い、専門職がより利用しやすいものにする必要がある。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
e	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び介護保険事業費補助金(通いの場の活動自粛下における介護予防のための広報支援事業)によりシステムを導入したため、次年度以降は、生活支援・介護予防サービス体制の基盤整備事業として実施する。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っていない状況であり、今後も専門職との連携にはICTの活用が必須であるため、さらにシステムを活用する必要がある。